



平成 27 年度 産総研エネルギー・環境シンポジウムシリーズ 第 7 回メタンハイドレート総合シンポジウム (CSMH-7)

研究発表および参加のご案内

産総研では、「グリーン・イノベーション」の実現に向け、エネルギー資源の有効利用に関する研究開発を実施しています。本シンポジウムでは、メタンハイドレートを始めとするガスハイドレート研究の進展と社会・産業界への橋渡しを促進するため、基礎科学分野から産業技術分野に至る研究者、技術者が集まり、最新の研究開発や技術開発の成果・動向について発表・討論を行います。これらの取り組みを通して、最新の研究動向の把握、研究者間の情報交換の促進および技術移転や若手研究者の育成などを行い、参加者間での共同研究の展開や工業化の加速化を目的としています。皆様多数のご発表、ご参加をお待ちしています。

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 創エネルギー研究部門
メタンハイドレートプロジェクトユニット

協賛：メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム、石油技術協会、一般財団法人エネルギー総合工学研究所、天然ガス鉱業会、公益社団法人地盤工学会関東支部、一般社団法人資源・素材学会、一般社団法人日本エネルギー学会、一般財団法人エンジニアリング協会、山口大学深海底資源開発研究推進体

日時：平成 27 年 12 月 2 日(水)10:00～17:30
12 月 3 日(木)10:00～17:00(予定)

会場：産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館バイオ・IT 融合研究棟 11 階会議室
<http://unit.aist.go.jp/waterfront/>

参加費：無料

講演分野

- ◆ 基礎物性(生成・分解特性、結晶成長、結晶構造、相平衡、計算科学など)
- ◆ ハイドレート機能活用技術(ガス貯蔵・輸送、ヒートポンプ、冷熱利用、ガス分離、CO₂ 有効利用など)
- ◆ 生産・開発(生産シミュレーション、フィールド試験・室内実験、生産障害、LCA など)
- ◆ 物理探査・検層(探査・検層に係るコア試験、地化学的探査も含む)
- ◆ 地質・地化学(メタンハイドレートの産状、起源、集積過程など)
- ◆ 地盤工学(地層変形、海底地盤調査、大水深開発など)
- ◆ 環境(油ガス田の環境保全対策、環境モニタリング、法規制、気候変動など)
- ◆ その他関連する研究分野

交流会：平成 27 年 12 月 2 日(水)18:00～20:00
(臨海副都心センター近隣のお店を検討中)

参加費：一般¥4,000(予定) 学生¥1,000(予定)

■ 申し込み等詳細は以下ホームページから(プログラムは 10 月中旬頃発表)
ホームページ：<https://unit.aist.go.jp/rief/mhpu/index.html>

■ お問い合わせ先

〒062-8517 札幌市豊平区月寒東 2 条 17 丁目 2-1

産総研 エネルギー・環境領域 創エネルギー研究部門 メタンハイドレートプロジェクトユニット
研究アライアンス事務局 総合シンポジウム担当(csmh-ml@aist.go.jp)